

あさみ いせき
朝見遺跡（第5次） その2

所在地 : 松阪市立田町・和屋町 (まつさかし たつたちょう・わやちょう)

位置情報URL : [三重県地図情報サービス](#) [朝見遺跡発掘調査現場](#)

古墳時代の水路跡が見つかりました！

現在、松阪市和屋町の東端の調査区で、発掘調査を進めています。

朝見遺跡は平安時代の遺跡として知られていますが、この調査区では古墳時代の水路跡が見つかりました。この頃からすでに、このような水路を開いて田畑の開発がされていたことがわかりました。



南北に流れる古墳時代の水路跡（北から）

南北に流れる2条の水路跡が出てきました。最も大きな水路跡（写真中央から左）は幅約4m、深さ約1mあります。埋土から、3～7世紀の土器が見つかりました。

当時は、そばを流れる現代の水路（写真左）のように、たくさんの水が流れていたのでしょうか。



水路跡の土層

発掘調査では、所々に土層観察用の畦を残して、堆積の様子を調べます。

この水路跡では、下層に粗い砂が溜まっており、当初は激しい水流があったことがうかがえます。一方、上の層にはきめ細かな粘土質の土が溜まっており、水路が埋まるにつれて流れが緩やかに、また、水路は狭く浅いものになっていったことがわかりました。

ここに水路を開いたのはどのような人々だったのでしょうか？残念ながら、この付近では、古墳時代の集落跡は見つかっていません。また、言い伝えによると、かつて和屋町内には7基の古墳があったとのことですが、詳しい場所は不明のままです。

この古墳時代の水路跡が、失われた古墳や古墳を築いた人々のムラを発見する一つの手がかりになるのではないかと期待されます。

☆発掘調査の様子です！



スコップを用いて土を掘っていきます。
土は粘土質。雨で濡れると重くなります！



田や水路のそばでは、調査区内に水が
浸みこんできます。排水も大変です！

<問い合わせ先> 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課
担当者：櫻井・谷口・森・嶋田
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035
E-mail：maibun@pref.mie.jp